

## 第 16 回日本統計学会春季集会の報告

大森 裕浩（日本統計学会理事長）

吉羽 要直（企画・行事委員長）

中妻 照雄（実行委員長）

第 16 回日本統計学会春季集会が 2022 年 3 月 5 日（土）に慶應義塾大学三田キャンパスにて、遠隔でのリアルタイム参加も可能な形で開催されました。第 13 回春季集会以来の 3 年ぶりの対面での集会が実現しました。今回の集会では、招待講演による 4 つの企画セッションと 1 つの基調講演、そしてポスターセッションが企画され、活発な議論が交わされました。

午前は、第 1 校舎 2 階 121 教室にて、開会式の後、2 階の 2 つの会場に分かれ、2 セッションが並行して実施されました。121 教室では、共催校による「モデリング研究の展開と実践（オーガナイザー：椿広計氏，統計数理研究所）」、123 教室では「高次元データのための統計解析理論（オーガナイザー：柳原宏和氏，広島大学）」がそれぞれ実施されました。

ポスターセッションは、昼休みのコアタイムを第 1 部、第 2 部に分けて、現地とオンラインの各会場で別々に開催され、学部生、大学院生、若手研究者を中心として現地 16 件、オンライン 18 件の計 34 件の発表がありました。コアタイムでは、来場者との熱心な議論により有意義な研究交流がなされました。

午後は、同じく第 1 校舎 2 階の 2 つの会場にて 2 セッションが並行して実施されました。121 教室では、開催校による「オルタナティブデータによる統計分析の展望と課題（オーガナイザー：中妻照雄，慶應義塾大学）」、123 教室では「VUCA 時代の価値創造—多様性からみる DS 人材育成（オーガナイザー：小野陽子氏，横浜市立大学）」がそれぞれ実施されました。

その後、オーストリアから遠隔にて参加された Sylvia Frühwirth-Schnatter 氏（Vienna University of Economics and Business）による基調講演が菅澤翔之助氏（東京大学）、各務和彦氏（名古屋市立大）のオーガナイズのもとで、121 教室とオンラインのハイブリッドで行われました。

最後に、ポスターセッション表彰式と閉会式が行われました。優れたポスター発表に贈られる優秀発表賞は郡山拓也氏（東京大学）、中村咲太氏（早稲田大学大学院）の 2 名に、学生優秀発表賞は澤谷一磨氏（東北大学）、下野祐太氏（京都大学）、田坂理英子氏（大阪大学大学院）の 3 名に授与され、樋口知之会長より表彰されました（氏名は五十音順）。また、川崎茂氏（一般財団法人統計質保証推進協会統計検定センター長）より、優秀発表賞と学生優秀発表賞の受賞者に対して統計検定センター長賞を贈呈していただきました。なお、今年の春季集会の参加者は現地参加（現地受付ベース）77 名、オ

オンライン参加・講演者（現地参加を除く事前参加登録ベース）164名の計241名でした。

春季集会はオーガナイザーの先生方にセッションを企画して頂いています。並行して開催するセッションの数が少なく、じっくりと研究発表を聞くことができるのが、春季集会の特徴です。また若い世代の研究者に積極的にポスター発表をしていただきました。今回は現地とオンラインとそれぞれでのリアルタイムでの開催となりました。今回の春季集会も多く発表者と参加者に恵まれ、盛会のうちに終了することができました。最後に、本集会を成功裏に導いてくださった方々に感謝申し上げます。

春季集会 URL :

<https://confit.atlas.jp/tjss2022spring>

ポスターセッション優秀発表賞

受賞のことは

郡山 拓也（東京大学）

この度は優秀発表賞という名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございました。

研究指導をくださった駒木文保先生と松田孟留先生に感謝いたします。初めての対面発表だったのですが、審査員の先生方が熱心に発表を聞いてくださったおかげで、刺激的な一日になりました。

本発表では Ewens–Pitman 分割のパラメータの最尤推定量の一致性と漸近混合性正規性を導出し、検定への応用について紹介しました。

この Ewens–Pitman 分割は、確率過程として美しい性質を持ちつつ、ノンパラベイズやネットワーク統計、生態学などの応用分野で現れます。実際、今回の Frühwirth-Schnatter 先生の基調講演の中でも出てきました。今後はこうした分野への応用を視野に入れながら、確率論を幅広く勉強していきたいと思います。

受賞のことは

中村 咲太（早稲田大学大学院）

この度は、ポスターセッションにおいて優秀発表賞という名誉ある賞を頂き、大変光栄に存じます。コロナ禍という特殊な状況下において、発表形式の決定には大変頭を抱えたことかと存じますが、ハイブリッド形式にて現地・オンライン発表のどちらでも参加・発表のしやすい環境を整えて下さった関係者の皆様、審査に携わられた先生方に厚くお礼を申し上げます。本発表では、非整数ブラウン運動で駆動される確率微分方程式のドリフトパラメータの、高頻度観測に基づく最小二乗推定量による推定法についてご報告をさせていただきました。研究に際し、指導教官の清水泰隆先生には日頃から親身な指導をして頂きました。また、共著者である弊研究室助手の中島翔平氏には多くの的確なご助言を頂きました。この場を借りて、お二人に深く感謝を申し上げます。

げます。今後も今回の受賞を励みにして、より一層研究活動に邁進して参りたいと思います。

#### ポスターセッション学生優秀発表賞

##### 受賞のことは

澤谷 一磨 (東北大学)

この度は学生優秀発表賞を頂戴し、大変光栄に思います。現地開催とオンラインとの併用という柔軟な環境で学会の運営及び審査をして頂いた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。また、いつも丁寧にご指導を頂いている植松良公先生にもこの場をお借りして厚く御礼申し上げたいと思います。

本報告では、近年活発に研究されている、高次元変数選択における第一種の過誤の指標である偽発見率を漸近的に指定水準以下に制御する方法に対して、コーシー分布などの裾の重い誤差分布へのロバスト性を備えた新たな手法を提案いたしました。報告に際して活発なご意見、ご質問を頂きましたことを大変ありがたく存じております。今回の受賞を励みに、更に良い研究ができるよう一層精進してまいります。

##### 受賞のことは

下野 祐太 (京都大学)

この度は学生優秀発表賞という名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。新型コロナウイルス蔓延の影響により、ハイブリッドという難しい形式にも関わらず、本大会の開催にご尽力頂いた関係者の皆様、及び審査をして頂いた先生方に厚くお礼を申し上げます。貴重な発表の機会を頂いたと同時に、大変興味深い発表をいくつも聴講することができ、大変刺激を受けました。

今回私は従来のモンテカルロシミュレーションに、最新の深層強化学習を組み込んだ新たな手法である「MetaQNet」を提案し、その有効性に関してご報告致しました。研究をすすめる中で様々な課題に直面しましたが、そのたびに適切なアドバイスを示し熱心にご指導して下さった馬淵先生に、この場を借りて心より感謝申し上げます。これからも日々の研究に精進し、素晴らしい発表ができるよう、より一層邁進してまいります。

##### 受賞のことは

田坂 理英子 (大阪大学大学院)

この度、日本統計学会春季大会学生優秀発表賞という栄誉ある賞をいただき大変光栄に思います。コロナ禍においても大会を開催し、研究発表のための貴重な場を設けてくださいました運営の皆様、そしてお忙しい中審査をしていただいた先生方に心より感謝

を申し上げます。また、このような賞をいただけたのは、日頃よりご指導いただいております鈴木讓先生をはじめ、研究室の皆様のご助力あつてのことです。この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

本発表では、Lasso に対して提案されていた Spacing Test という選択後の推測 (Post-Selection Inference) を Fused Lasso および Trend Filtering に拡張することで、これらの適切なモデルが検定により決定可能となることを報告しました。多くのご質問・ご意見をいただき、嬉しく思うとともに、これを励みにより今後の研究を発展させて参りたいと思います。